

■ 日程表

開催日	時間帯	講師名	役職等	テーマ
5/20(火)	18:00～19:30	村山 聡	香川大学教育学部教授	歴史学が変わる ー自然への新たなアプローチー
5/22(木)	18:00～19:30	上田 昌孝	(株)ディノス・セシール 取締役会長	思考力と発信力 ～多様性が求められる時代での サバイバル～
5/27(火)	18:00～19:30	東江 栄	香川大学農学部教授	極限環境に生きる植物 ーしくみの理解とその応用ー
6/12(木)	18:00～19:30	上野 正樹	香川大学医学部教授	認知症について ーアルツハイマー病、プリオン病、 血管性認知症を知っていますか？ー
6/17(火)	18:00～19:30	熊谷 信広	香川大学 インターナショナルオフィス 客員教授	国際協力のすすめ (異文化における援助のあり方)
6/26(木)	18:00～19:30	齊藤 正	(株)齊藤正穀工房 代表取締役社長	瀬戸内国際芸術祭2013秋本島 善根湯×版築プロジェクトを振り返って
7/ 7(月)	18:00～19:30	三浦 真紀	国土交通省 四国地方整備局長	社会資本の維持管理と防災・減災 への取り組み
7/15(火)	18:00～19:30	大坂 靖彦	株式会社大坂塾 代表取締役塾長	人生戦略 ー夢を実現するグランド・デザイン、 『極め』『徹底せよ』



お問合せ先・担当窓口
国立大学法人香川大学 教育・学生支援室修学支援グループ(研究交流棟1F) 担当:濱崎
〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 TEL: (087) 832-1151 FAX: (087) 832-1155
E-mail: sogaksen@jim.ao.kagawa-u.ac.jp URL: <http://www.kagawa-u.ac.jp>

■ 申込方法

必要事項①～④を上記のE-mailへ送信するか、直接担当窓口で申し込むこと。
当日参加も可能です。

【必要事項】 ①参加希望日 ②学部・学科 ③学籍番号 ④氏 名

※ 当日参加可能ですが、その際は講義資料をお渡しできない場合があります。
※ 申し込みいただいた個人情報は、本セミナーでのみ使用し、これ以外の目的で使用することはありません。
※ 本セミナーは香川大学学生を主対象としていますが、教職員、学外の希望者も参加できます。

もう一歩先の学びへ

香川大学 アドバンスト・ セミナー

■ 開催日時

5月20日～
月・火・木 18:00～19:30

※ 詳細は裏面参照のこと。

■ 場所

アカデミック・コモンズ2F
(OLIVE SQUARE) 多目的ホール

～ アドバンスト・セミナーってなに? ～

大学の学びは、最先端の研究の現場、リアルタイムな社会問題の現場を舞台として、学生のみなさんが教員とともに考えることによって成立します。みなさんに、こういった舞台で活躍する方々の取り組みにもっと間近で触れてほしい、その原動力となる熱意を感じ取ってほしい、そして「大学で学んでこんなに面白いんだ!」と実感してほしい—— アドバンスト・セミナーは、長尾学長のそんな思いから開講されることになった正課外の講座です。講座では、様々な分野で活躍される学内・学外のトップクラスの方々に講師を迎え、講師と参加者との双方向のやり取りが行われます。アドバンスト・セミナーは、みなさんがこれまでの学びを越えて「もう一歩先へ」と歩んでいくための道しるべです。



長尾 省吾 学長



■ 講演日程・テーマ・講師プロフィール

5月20日🌞 18:00～19:30

『歴史学が変わる ―自然への新たなアプローチ―』

村山 聡 教授 【香川大学教育学部教授】

動物、植物、ウイルス、水、空気、災害、食、廃棄物、人類などを対象とする「環境史」研究は、歴史学という学問がこれまで対象としてきた世界を大きく変えつつあります。地球環境の超長期的な歴史は語られて来たものの、歴史学は本当に自然を対象としてきたのでしょうか。地球そのものの将来を人類が決めかねない今日、文系・理系の枠を超えて、人類と自然との関係性の宝庫である過去の「実験場」を知り、今後に役立てることに、歴史学は新たな挑戦を始めています。環境史研究の新しい世界を分かりやすく紹介したいと思います。

5月22日🌞 18:00～19:30

『思考力と発信力 ～多様性が求められる時代でのサバイバル～』

上田 昌孝 氏 【(株)ディノス・セシール取締役会長】

日本が抱える財政破綻、エネルギー問題、TPP など多くの問題。
日本だけの価値観で考えていても、本質的な解決は見出せないテーマばかりです。そういう時代にビジネスとして、あるいは個人として生き残っていくためにどういう価値観が必要か、また将来の日本のためにどういう人材を育成すべきか、について議論します。

5月27日🌞 18:00～19:30

『極限環境に生きる植物 ―しくみの理解とその応用―』

東江 栄 教授 【香川大学農学部教授】

植物の中には通常の植物が枯れてしまう過酷な環境でも生きていけるものがある。アイスプラントは南アフリカ原産の植物で、海水をかけても枯れない耐塩性の強い植物である。
この植物は塩分に対抗して様々な物質をつくる。これらは人体にとって有用な物質も含まれる。私たちはこの植物を新しい野菜として初めて流通させた。講演では、アイスプラントを用いた取り組みの概要、ならびに新しい機能性食材として期待されるアイスプラント以外の野生植物を紹介する。

6月12日🌞 18:00～19:30

『認知症について ―アルツハイマー病、プリオン病、血管性認知症を知っていますか?―』

上野 正樹 教授 【香川大学医学部教授】

人口の高齢化に伴い、世界の認知症の患者数は今後数十年で爆発的に増加し、2050年までに現在の約3倍に達する可能性があるとの報告が、平成25年12月5日、国際アルツハイマー病協会から発表されました。現時点では、認知症の原因や治療薬をはじめとした様々な対処法ははまだ確立していません。
その認知症についての実験の結果も含め、現在考えられている原因や診断方法などを具体的に述べ、どのように対処していけば良いのか、概説します。

6月17日🌞 18:00～19:30

『国際協力のすすめ（異文化における援助のあり方）』

熊谷 信広 教授 【香川大学インターナショナルオフィス客員教授】

独立行政法人国際協力機構(JICA)から香川大学に客員教授として出向の講師による海外援助事情に関する講義。特に、アフリカ地域(ザンビア、ボツワナ)、東南アジア地域(ラオス)、カリブ海(ジャマイカ)に日本の政府開発援助(ODA)の現場責任者として長期滞在した経験から、異文化における援助のあり方を考える。いままで68カ国において実施したODAの経験の基礎となった様々な国の人々との生活を通して、相手の立場、ものの見方、文化を知ることの大切さ、日本のものの見方とは異なる人々との共生の思想の重要性を考える。その基本は、「認識せずして評価をしない」という考え方にある。

6月26日🌞 18:00～19:30

『瀬戸内国際芸術祭2013秋本島 善根湯×版築プロジェクトを振り返って』

齊藤 正 氏 【(株)齊藤正毅工房代表取締役社長】

瀬戸内国際芸術祭2013秋本島 善根湯×版築プロジェクトを振り返って、その内容と、瀬戸内の島と関わりながら、アート作品をつくる意義、そしてこれから島とどう関わっていくのかを実際のアクティビティー事例に合わせて講演。

7月 7日🌞 18:00～19:30

『社会資本の維持管理と防災・減災への取り組み』

三浦 真紀 氏 【国土交通省四国地方整備局長】

東日本大震災を契機として、巨大台風や巨大地震に備えるための防災・減災対策を強化するとともに、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に高齢化することから老朽化対策を加速する必要があります。国土交通省四国地方整備局では、成長のための基盤の強化を図るとともに、ハード・ソフト面から防災・減災、老朽化対策を進め、豊かで安全・安心な社会の実現に取り組んでいます。

7月15日🌞 18:00～19:30

『人生戦略 ―夢を実現するブランド・デザイン、「極め」「徹底せよ」』

大坂 靖彦 氏 【株式会社大坂塾代表取締役塾長】

メーテルリンクのチルチルとミチルの兄妹が、幸せの青い鳥を求めて旅をするお話がありますが、チルチルとミチルのように、ただ旅をしているだけでは、探している幸せは見つかりません。大切なことは、自分自身がいる家庭、学校、職場、社会の中で「自分がどのような役割を担っているのか」さらに「担おうとしているのか」を明らかにすることです。現実逃避の「自分探し」ではなく、自分自身が居る環境に挑戦する「自分創り」でなければなりません。自分の幸せは探すものではなく、自分で創るものと考えております。私は、ポール・J・マイヤーの「君の人生は君の思い描いたとおりになる」という言葉との衝撃的な出会いにより、自分の命日を決め、そこに至る迄の壮大な人生のドラマを描きました。そして、情報を集め、戦略を駆使して、夢を実現してきました。私個人としての人生設計、即ち人生戦略、また経営者としての企業戦略の実例をご紹介します。私自身が実践し、成果を上げた、いわば実証済みの「自分創り」の手法である、人生設計の考え方・創り方についてお伝えします。

